



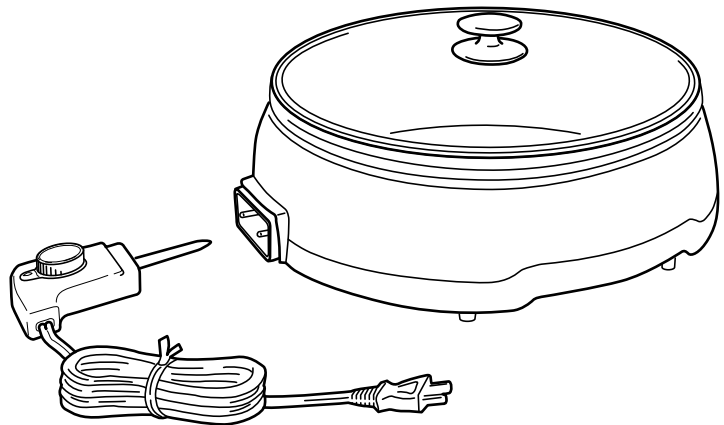
## ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)  
を最後までお読みのうえ  
正しくお使いください。

電気グリル鍋

# GN-1200

## 取扱説明書



### も く じ

安全上のご注意	1～2
必ずお守り下さい	3～4
各部の名称	5
使い方	5～6
プレートの外し方、取り付け方	7
お手入れ	8
故障かな?と思ったら	9
温度調節について	9
アフターサービスについて	10
仕 様	10

お買い上げいただきありがとうございました。  
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に  
保管してください。  
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じ  
たとき、きっとお役に立ちます。

# 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

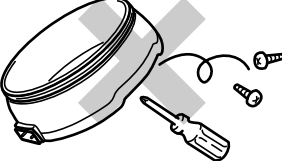
○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。


※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 警告


**修理技術者以外の方は分解、修理、改造をしない**  
●火災・感電・けがの原因となります。



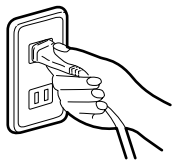
**水につけたり、水をかけたりしない**  
●ショート・感電の恐れがあります。



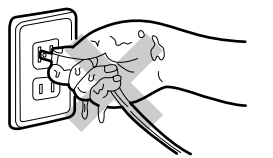
**定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する**  
●他の器具と併用したり延長コードを使うと異常発熱・感電・火災の原因となります。  
タコ足配線はしないで




**電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む**  
●差し込みが不足していた場合、感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。



**ぬれた手でコンセントから電源プラグの抜き差しをしない**  
●感電やけがをすることがあります。



**子どもだけでの使用や、幼児の手の届くところでの使用はしない**  
●やけど・感電・けがをすることがあります。



# 警告



接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部  
(プレート・ふた・その他金属部)  
や蒸気に触れない

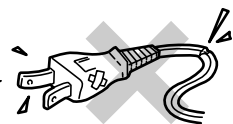
- 高温ですの  
でやけどの  
原因となり  
ます。



禁止

電源プラグが痛んでいたり、コ  
ンセントの差し込みがゆるい時  
は使用しない

- 感電・ショ  
ート・発火  
の原因とな  
ります。



禁止

電源コードを乱暴に扱わない

(傷つける・破損したまま使用する・加工する・無理に曲げる・  
引っぱる・ねじる・たばねる・高温部に近づけるなど)

- 重い物を載せたり、挟み込んだりすると、破損して火災・感電の原因となります。



# 注意

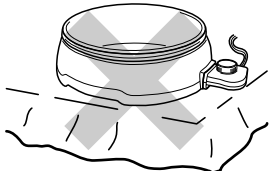


禁止

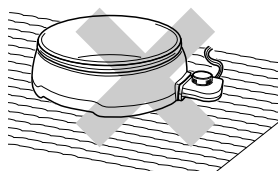
不安定な場所や熱に弱い敷物の上、また次のような  
場所では使用しない

- 火災の原因となります。

- ビニール製のテーブル  
クロスの上

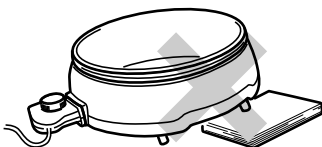


- たたみ・じゅうたんな  
の上



※テーブルやワゴンなどでも熱により変色、あるいは  
跡形がつく場合がありますのでご注意ください。

- 本体が傾いた  
状態での使用



- カーテンなど  
の近く



- 水のかかり  
やすい場所



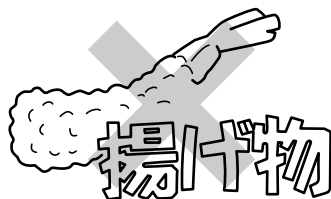
- 火気のそば



禁止

揚げ物料理には使用しない

- 火災の原因となります。



禁止

お手入れは本体が冷えてから行  
なう

- 高温部に触れてしまい、やけどを  
する恐れがあります。



禁止

壁や家具の近くで使用しない

- 蒸気または  
熱で壁や家  
具を傷め、  
変色や変形  
の原因とな  
ります。



禁止

さし込みプラグのほこりなどは  
定期的にとる

- プラグ部にほこりがたま  
ると、湿気などで絶縁  
不良となり、火災の原  
因となります。  
ほこり・ゴミを取り、乾  
いた布でふいてください。



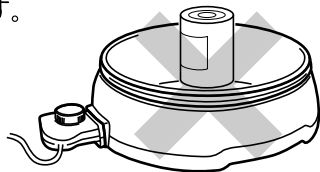
# ⚠ 注意



禁止

調理物以外のものをプレートに直接のせて加熱しない

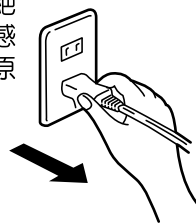
- 缶または瓶が破裂したり赤熱してやけどやけがをすることがあります。



プラグを抜く

使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いておく

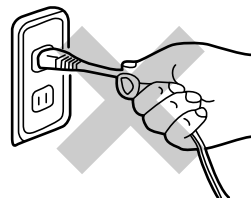
- けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



指示に従う

電源プラグや自動温度調節器を抜く時は、必ず電源プラグや自動温度調節器を持って引き抜く

- 感電やショートして発火することがあります。



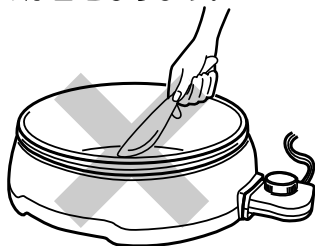
## ご使用上の注意



禁止

樹脂製又は木製以外の金属製のへらやナイフを使用しない

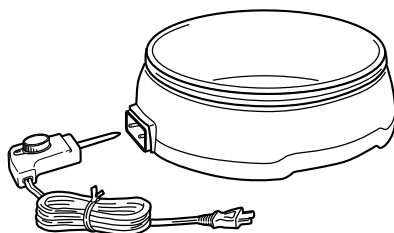
- フッ素樹脂加工面が傷つき、腐食の原因となります。



禁止

自動温度調節器はこの商品の専用用品です

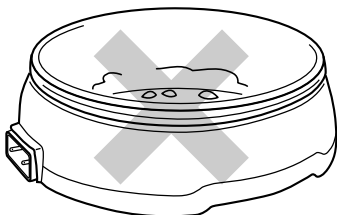
- 他に転用したり、類似のものを本品に使用しないでください。



禁止

料理の残りや水を入れたままの状態では放置しない

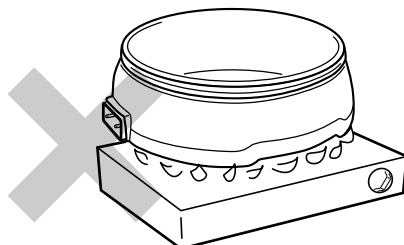
- プレートの素地が腐食し、フッ素樹脂がはがれる場合があります。



禁止

本体やプレートを直接ガスコンロにかけない

- 本体が燃えたり、プレートが変形して使用できなくなります。

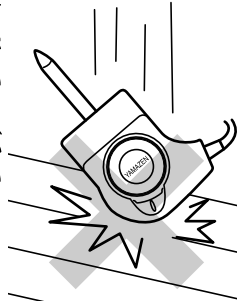




禁止

### 自動温度調節器にショックを与えない

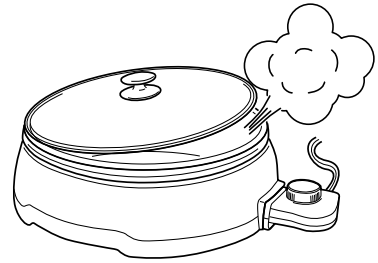
- 正しく温度調節されるよう精密に調整されていますので、落としたり、物にぶつけたりしないでください。



指示に従う

### 蒸しもの料理などでふたを開ける際には、蒸気に注意する

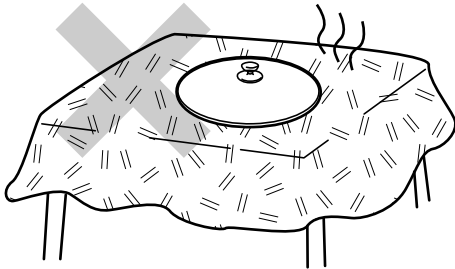
- 蒸気が勢いよく出ますので、やけどにご注意ください。



禁止

### 熱い状態のふたをビニールクロスやテーブルなどの上に置かない

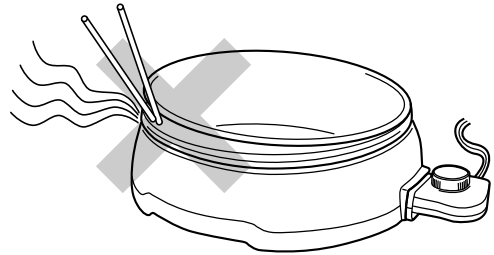
- 跡形がつくことがありますのでご注意ください。



禁止

### 異物がついたまま使用しない

- プレート裏面やヒーター、感熱棒に異物がついたまま使用すると異常発熱し、故障の原因となります。

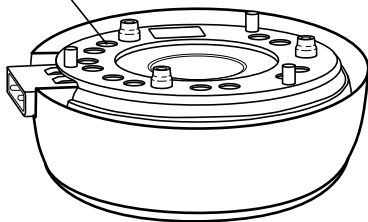


禁止

### 本体底部の排気口をふさがない

- 底部の排気口をふさいだまま使用すると異常発熱し、故障の原因となります。

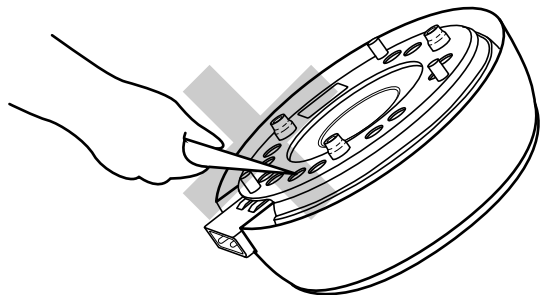
排気口



禁止

### 本体底部の排気口に金属製の棒などを突っ込まない

- 感電・ショート・火災の恐れがあります。



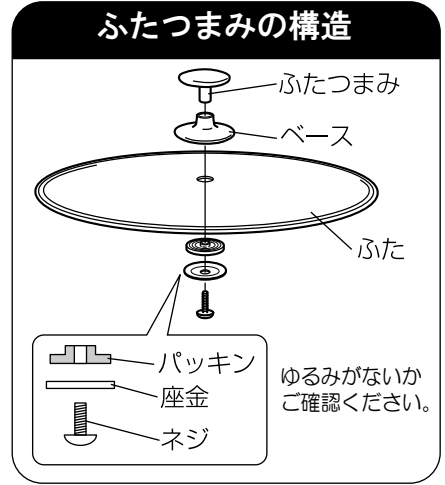
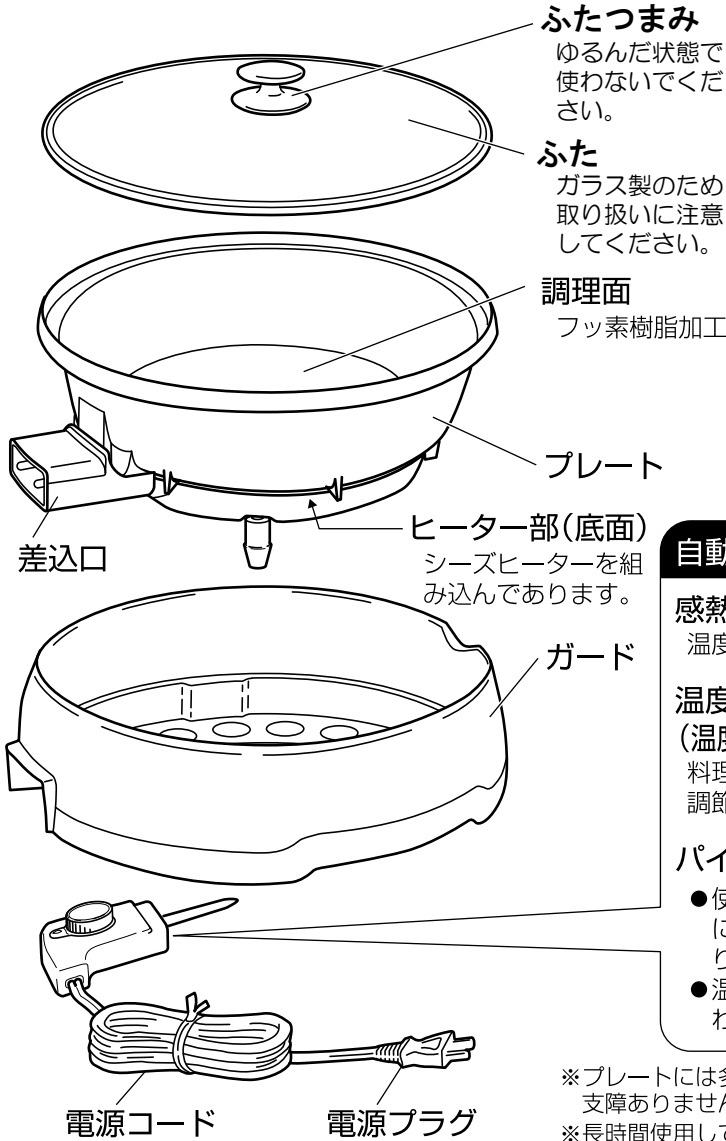
禁止

### プレートや自動温度調節器を丸洗しない

- プレートのヒーター部や自動温度調節器に水が入り、故障・感電の恐れがあります。



# 各部の名称

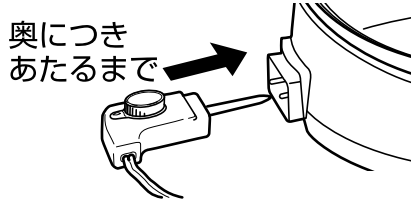


※プレートには多少の色むらがありますが、ご使用の品質には支障ありません。  
※長時間使用していると、調理物の油によって変色することがありますが、ご使用に支障ありません。

# 使い方

温度調節つまみが『切』になっていることを確認してからご使用ください。

- 1** 自動温度調節器を本体に差し込みます。  
●温度調節つまみを『切』にして、根元まで確実に差し込みます。



**⚠ 注意**

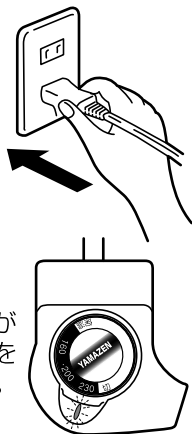
●差し込みが不十分ですと接触不良となり事故・故障の原因となります。

●自動温度調節器の感熱棒や差込口のピンの汚れは、必ずふきとってください。

## 2 電源プラグを差し込み、目盛りを合わせる。

1. 電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込みます。
2. 料理に応じて温度調節つまみの目盛りを合わせます。

パイロットランプが点灯していることを確認してください。



### 温度の目安と料理例

#### ●なべもの

目 盛	保温	160
料理例	おでん カレー スープ	寄せ鍋 すき焼き 肉じゃが

#### ●焼きもの

目 盛	160	200	230
料理例	ホットケーキ 目玉焼 お好み焼き ハンバーグ	焼きようざ 焼そば	ステーキ 焼肉

### ⚠警告



●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う。  
(タコ足配線はしないでください)



●ぬれた手でコンセントから電源プラグの抜き差しをしない

### ご使用上の注意

- 自動温度調節器の目盛は「切」と「230」で止まります。それ以上は無理に回さないでください。
- 初めは、煙やにおいが出る場合がありますが異常ではありません。ご使用により出なくなります。

## 3 ■なべもの

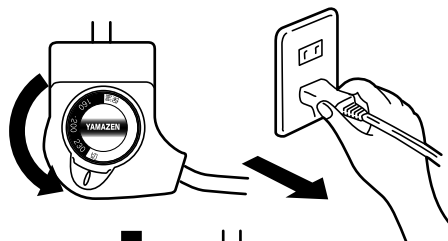
- ①水・だし汁（スープ）を入れてふたをする。
- ②温度調節つまみを『230』にする。
  - 通電ランプが点灯し、通電をはじめます。
- ③沸とうしたら材料を入れる。
- ④煮え具合に応じて温度を調節する。
  - 調理中にふきこぼれそうになったら、温度調整つまみをパイロットランプが消えるまで、『保温』側に回してください。また、ふたを取るなどしてふきこぼれないようにしてください。（9ページ「温度調整について」参照）
  - 水や煮汁がプラグ受けにかかったときは、コンセントからさしこみプラグを抜いて、乾いた布などでふき取ってください。

## ■焼きもの

- ①温度調節つまみをお好みの温度に設定する。
- ②パイロットランプが消えたら調理をはじめる。
  - 通電開始後、約5～10分で適温となります。
  - パイロットランプが消えたら調理をはじめてください。
  - 最初に軽く食用油をひいてからお使いください。

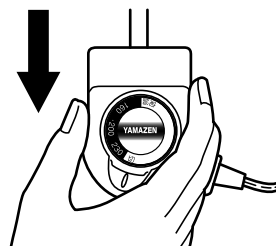
## 4 使用後、温度調節つまみを『切』にし、電源プラグをコンセントから抜く。

1. 温度調節つまみを『切』にする。
2. 電源プラグをコンセントから抜く。



## 5 本体が十分に冷えてから自動温度調節器を差込口から抜く。

- 必ず自動温度調節器を持って抜いてください。



# プレートの外し方、取り付け方

## ⚠ 注意

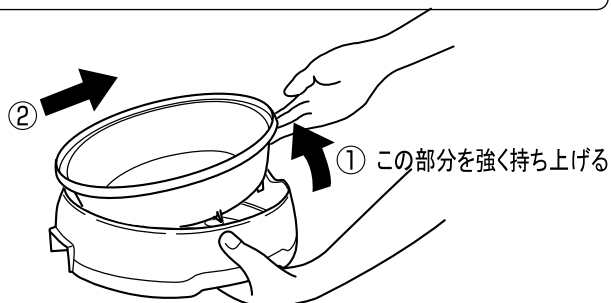


指示に従う

●使用後しばらくの間は、プレートや自動温度調節器の感知棒が熱くなっていますので十分に冷えた状態で行ってください。

## 外し方

1. 自動温度調節器を差込口から抜きます。
2. プレートをケースから持ち上げます。①
3. ケースを押さえながら差込口と反対方向に引き抜いてください。②

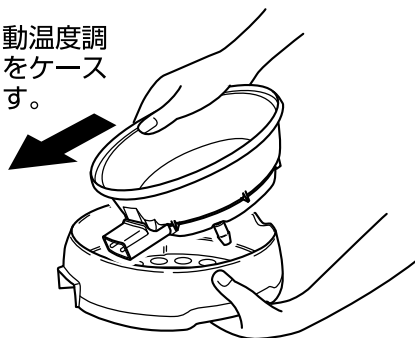


## ご使用上の注意

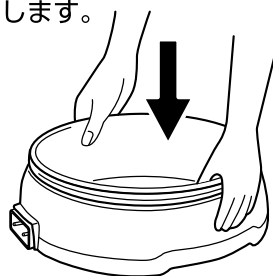
- プレートを無理に持ち上げるとケースや差込口の破損原因となります。
- プレート裏面のヒーター部カバーとプレート間のすきまに、指や異物を入れないでください。けがや故障の原因となります。

## 取り付け方

1. プレートの自動温度調節器の差込口をケースに差し込みます。



2. プレートをケースに合わせながら上から軽く押しします。



## ご使用上の注意

- ご使用時や持ち運び時、及び箱への収納時にはプレートが確実にセットされているかよく確認してください。
- プレートを下にして持ち運ばないでください。プレートが落下する恐れがあり危険です。

## ⚠ 注意



禁止

- ふたの取り扱いについて
- ぶつけない ●落とさない
- 傷をつけない ●直火に当てない
- 急激に冷やさない
- オープンでは使わない
- 本体からずらして使わない

上記のような急激な温度変化、傷つき、強い衝撃が一度加わると、その時またはその後で破損する原因になります。

## ふたの取扱いのご注意

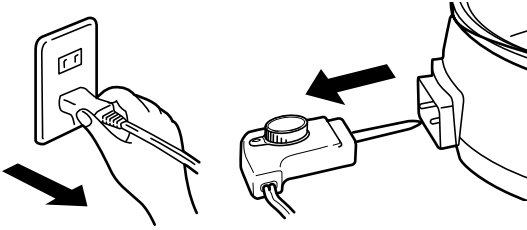
- 初めてお使いになる時は、中性洗剤などで洗ってください。
- 食器洗浄機をお使いになる時は、洗剤のアルカリ成分のすすぎ残しでくもることがあります。
- 万が一破損した時は、細かく割れますので、取り除く時は、手を切らないようご注意ください。



# お手入れ

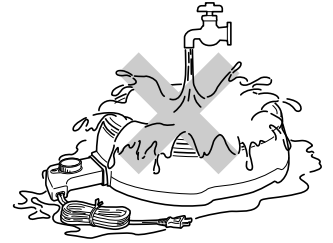
## お手入れの前に

差し込みプラグをコンセントから抜いて、プレート・ヒーターが十分に冷めてからはじめてください。



洗剤は必ず台所用中性洗剤(食器用・調理器具用)を使用する。金属たわしやみがき粉、ベンジン、シンナーなどは使用しない。

プレート、自動温度調節器の丸洗いは絶対にしない。



### ⚠ 注意



指示に従う

●電源プラグや自動温度調節器を抜くときは必ず電源プラグや自動温度調節器を持って引き抜く



禁止

●お手入れは本体が冷えてから行う

### ⚠ 警告



禁止

●水につけたり、水をかけたりしない。(ショートや感電の恐れがあります)

## プレートのフッ素コートを持持ちさせる為に

- 金属ヘラを使用すると、プレート表面にキズがつきます。プレート保護のためヘラは樹脂製か木製をお使いください。
- ナイフやフォークなど鋭利な物でこすらないでください。
- プレートは流し洗いができますが、みがき粉やナイロンたわし又は金属製のたわしなどは使わないでください。
- 調理物の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。

## お手入れの仕方

**ふ た** ..... スポンジか布を使って台所用中性洗剤で丸洗いし、よくすすいで乾いた布で水分をふきとってください。  
ガラス製ですので、注意して取り扱ってください。

**プレート** ..... ●使用後あたたかいうちにやわらかい紙ナプキンでふきとってください。  
●汚れが取れにくい場合は、プレートをケースから取り外して差込口や裏側ヒーター部に水が入らないように差込口を上にして流し洗いをしてください。  
●お手入れ後は、2～3分間通电して乾燥させ、サラダ油をうすくぬってください。



丸洗い禁止

**ガード** ..... スポンジか布を使って台所用中性洗剤で丸洗いし、よくすすいで乾いた布で水分をふきとってください。

**自動温度調節器** ..... 固くしぼったふきんで、飛び散った油や料理のかすなどをふきとってください。

### ⚠ 警告

自動温度調整器の接続部(差込口のピン、ピンの差込口、感熱棒)に調理物が付着したときは、ただちにお手入れしてください。  
発熱や機器の故障の原因になります。

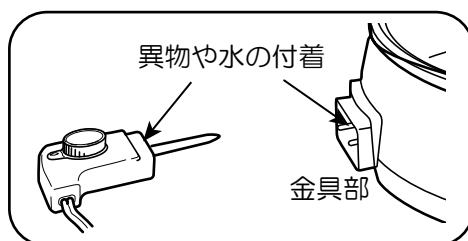
# 故障かな？と思ったら 次の点検を行ってください。

症 状	原 因	処 置
プレートの温度が 上がらない	●電源プラグが正しく差し込まれていますか？	●確実に差し込んでください。
	●温度調節つまみが、「切」になっていませんか？	●料理に合わせて温度調節つまみを好みの温度に設定してください。
	●自動温度調節器が差込口に正しく差し込まれていますか？	●確実に差し込んでください。
	●コンセントは正常ですか？	●別のコンセントでお試してください。
使用中に「カチッ」と音がする	●ヒーターの熱膨張によるもので、故障ではありません。	

## 【電源プラグ（コード）が熱いとき】

手で持てないくらい熱くなり異常と感じたときは、次のことをご確認ください。

1. 本体との接続部分の金具に汚れの付着や水がかかっていますか。  
→ふき取ってください。
2. 延長コードを使用していませんか。  
→コードは長くするほど抵抗が大きくなり発熱します。
3. 同じコンセントで他の電気製品を使っていませんか。  
→コンセントの容量いっぱいを使用すると発熱の原因になります。
4. 電源コードに傷があったり、異常に柔らかい部分がありませんか。  
→電源プラグ付近のコードは、抜き差し回数が多かったり電源プラグをもたずに抜いたりして負荷をかけると内部で断線することがあり発熱します。
5. 電源プラグが変形したり、変色、汚れが付着していませんか。  
→コンセントとの接触不良で発熱の原因になります。
6. 違う部屋のコンセントでも熱くなりますか。  
→電源プラグが軽く差し込めたり、簡単に抜けるときは接触不良となります。



※電源コードやプラグに異常があるときは修理をご依頼ください。

## 温度調節について

- グリル鍋は、鍋の温度を温度調節器が感知し、ヒーターの断続運転によって温度調整をするため、ガスコンロなどと火力調節方法が異なります。  
鍋が設定温度になると、温度調節器(サーモスタット)が働いてヒーターへの通電を停止し、温度が下がってくると、通電を再開して設定された温度まで加熱するようになっています。
- 焼き物、炒め物の場合、鍋は温度調節器の設定温度まで上昇しますが、鍋物など、だし(液体)の多い料理の場合、水の沸騰温度(約100℃)を超えた温度以上に設定しても、料理の温度は100℃を大きく超えることはありません。  
そのため、温度設定を高くしても鍋の温度は、設定した温度まで上がりず沸騰し続けます。特にとろみのついた料理の場合、焦げてしまうこともありますのでご注意ください。
- 調理中(加熱中)は、温度調節つまみの黒い帯に合わせるとパイロットランプが点いたままになり、グツグツと沸騰した状態が続きます。  
(ランプの点灯中は、どの設定位置でも出力(火加減)は変わりません。)
- 沸騰した後、煮込むときは温度調整つまみをパイロットランプが消えるところまで「保温」側にゆっくり回してパイロットランプが消えるところで止めてください。  
しばらくすると、再びランプが点灯して加熱し、短時間加熱しては消える、断続運転を繰り返します。煮え具合を見ながら、温度を調節してください。

# 仕 様

品名	グリル鍋
品番	GN-1200
電源	AC100V (50-60Hz共用)
消費電力	1200W
外形寸法(約)	幅29cm×奥行35cm×高さ16.8cm
質量	約1.9kg (フタ・電源コード含む)
コード長	1.4m
発熱体	シーズヒーター

## アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。  
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。  
保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理についてはお買上げの販売店にご相談ください。  
(株)山善は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- ④グリル鍋の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。  
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。

この商品についてのお取扱い お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

### お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間 10:00～17:00 (土日・祝日を除く)

●Eメールでのご相談も受け付けております。  
その際は商品名・形名 ご相談内容 お名前 お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は  
info\_a@yamazen.co.jp

### 個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。